

2022年3月16日

メドメイン、子宮頸がん検診を高精度に迅速化する病理 AI の開発に成功

デジタル病理支援ソリューション「PidPort」を提供するメドメイン株式会社（本社：福岡市）は、Deep Learning（深層学習）を用いることで、子宮頸がん検診で使用される液状化細胞診デジタル標本において、がんを含む上皮性腫瘍を疑う病変の存在をスクリーニングする人工知能の開発に成功した。

この開発に関する論文は、MDPI（<https://www.mdpi.com>）が発行するCancersに投稿され2022年2月24日にArtificial Intelligence in Oncologyの特集号に掲載された。

わが国の女性におけるがんの中で、子宮頸がんは比較的多く20歳代から40歳代の女性で近年増加傾向が認められている。そして、子宮頸がん検診の重要性は広く周知されており、細胞診は子宮頸がん検診の現場で推奨されている検査方法で、近年の子宮頸がん検診では、不適切標本の回避や、子宮頸がん発症に深く関与するヒトパピローマウイルス（HPV）検査の重要性などを背景として、液状化細胞診（Liquid-based cytology：LBC）が急速に普及してきている。

今回開発した人工知能を用いることでの液状化細胞診による子宮頸がん検診のスクリーニングでの、迅速化ならびに精度の向上と均質化が大きく期待されている。